

令和4年第12回定例教育委員会会議

開催日時 令和4年12月20日(火)

午後1時30分

場 所 中央図書館2階 視聴覚ホール

議 題

日程第一 議事事項

議案第50号 令和5年度使用富士見市立富士見特別支援学校用教科用
図書の採択について

その他

○教育行政方針に基づく進捗状況の報告

- (1) 市制施行50周年記念事業「青少年の主張大会～50年後の未来を語ろう!～」について
- (2) 市制施行50周年記念事業「私たちの未来、50年後の富士見市 作品展」について
- (3) 令和4年度富士見市いじめのない学校づくり子ども会議について

○イベント案内等

- (1) 令和5年富士見市二十歳式について
- (2) 市制施行50周年記念学校給食献立について

議案第50号

令和5年度使用富士見市立富士見特別支援学校用教科用図書の採択について

令和5年度使用富士見市立富士見特別支援学校用教科用図書について、別添のとおり採択する。

令和4年12月20日提出

富士見市教育委員会
教育長 山口 武士

提案理由

富士見特別支援学校の令和5年度使用教科用図書について、内容を一部変更したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により、この案を提出します。

選定結果

1 供給不能な図書

(1) 小学部

○一般図書 (1点)

種目	発行者 (略称)	書名	理由
音楽	永岡書店	どうぶつタンバリンリズムえほん	廃版

(2) 中学部

○一般図書 (3点)

種目	発行者 (略称)	書名	理由
書写	金の星社	マグネットパズルにほんちず	品切れ
保健 体育	ポプラ社	ポップアップ人体えほん ポップアップ人体図鑑—等身大ポスターがとびだす!	品切れ
	新星出版社	いちばんよくわかるストレッチの教科書	品切れ

2 選定変更後の図書

(1) 小学部

○一般図書 (1点)

種目	発行者 (略称)	書名
音楽	三起商行	ミキハウスの絵本 ポカポカフレンズたいこでポン

(2) 中学部

○一般図書 (3点)

種目	発行者 (略称)	書名
書写	くもん出版	もじ・ことば3 やさしいひらがな1集
保健 体育	パイインタ	はじめてのからだえほん
	合同出版	子どもとマスターする45の操体法改訂新版 イラスト版からだのつかい方・ととのえ方

市制施行 50 周年記念事業「青少年の主張大会～50 年後の未来を語ろう！～」 事業報告書

1 実施日・会場

令和 4 年 11 月 26 日(土) 鶴瀬コミュニティセンター ホール

2 主催

富士見市青少年育成市民会議、富士見市教育委員会

3 発表者

市内小学校（6 年生）、中学校（2 年生）、富士見特別支援学校、県立富士見高等学校から各校 1 名（計 19 名）

4 主な内容

令和 4 年度は、発表対象者を小学生等に拡大した上で、「50 年後の富士見市～こんな富士見市になったらいいな～」をテーマに実施した。

児童生徒は、自然、環境、伝統、発展、平和など各自の興味関心に基づき、日頃の生活を通して感じていることや未来への希望、それを実現していくための提案等を発表した。

（主張タイトル）

「きれいな富士見市へ」、「思い出の市 富士見市」、「笑顔の花が咲き続けるために」等。

5 主な成果

発表後には、「子どもたちの真摯な言葉に感動した」「思わず涙が出てくる、すばらしい発表だった」「必ず訪れる 50 年後に向けて、今日の児童生徒たちのように、目標を考え行動する心を持つことが大切だと実感した」等の感想が寄せられた。青少年の社会参加と意識啓発、また市民の青少年に対する理解を深めるよい機会となった。

【当日のようす】



市制施行 50 周年記念事業 「私たちの未来、50 年後の富士見市 作品展」 事業報告

1 概要

50 年後の富士見市を表現した立体作品や絵画を展示

2 日時・会場

令和 4 年 10 月 15 日(土)～17 日(月) キラリ☆ふじみ

3 募集対象者

市内小・中・特別支援学校の児童生徒

4 応募数及び出品数

・応募数：1,226 作品

・出品数：74 作品

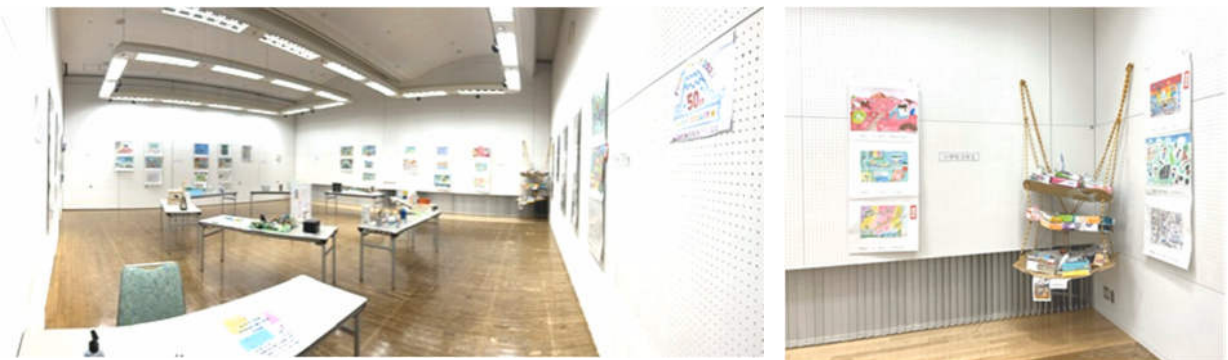
(各学校の校内選考を経て絵画 50 点、立体作品 24 点を出品)

5 受賞数

・市長賞：2 名 ・教育長賞：2 名 ・特別賞：4 名 ・学年賞：14 名

6 一般来場者数

252 名



市長賞



教育長賞



特別賞

令和4年度富士見市いじめのない学校づくり子ども会議について

1 実施日

令和4年11月14日（月）

2 参加者

市内小中学校から選出された児童生徒及び学校関係者等

3 会場

中学校4校（富士見台、西、勝瀬、本郷）及び中央図書館

4 実施方法

中学校区ごとに会場に集まり、各会場をオンラインで結んで会議を実施

5 内容

「ネットによるいじめをなくすために・・・」をテーマに、以下の話合いを実施

- (1) ネットに関わる友達とのトラブルにはどんなものがあるのか（各会場）
- (2) トラブルを改善するために具体的にできること（各会場）
- (3) 上記解決策の中から、取り組みたい内容を決定（各会場）
- (4) 中学校区ごとに発表（オンライン）

《具体的な取組内容（例）》

- ・インターネットの先にいる相手の気持ちを考えてメール等のやり取りをする
- ・ポスター等の掲示物をつくって、『ネットによるいじめ』をなくすよう呼びかける

6 今後の取組み

いじめをなくすための具体的な取組みを各学校において展開し、令和5年度いじめのない学校づくり子ども会議において成果等を報告する。



記念撮影



中学校区ごとの話合い